

令和7年第10回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 令和7年10月14日（火）

2. 場 所 浅口市中央公民館第3会議室

3. 開 会 午後1時30分

4. 閉 会 午後2時00分

5. 出席者 文谷元信 高戸崇 藤澤弘幸 河野由美子 坂本正恵

6. 説明のために出席した者の氏名

教 育 次 長	難波勝敏	教育総務課長	大島永太郎
学校教育課長	加藤靖雄	保育未来課長	平田貴俊
ひとづくり推進課長	園部 智	金光分室長	中嶋利恵
寄島分室長	山本峯廣	学校給食センター所長	安原直子
教育総務課	平井恵美子（事務局）		

7. 傍 聴 人 なし

8. 議 事

日程1 議事録署名委員について
浅口市教育委員会会議規則第29条により河野委員を指名。
(了承)

日程2 会期について
本日10月14日の1日会期。
(承認)

本会議通知後に準要保護の認定について議案提出があったため、追加議案とすることを諮る。
(承認)

日程3 議案第32号 準要保護の認定について

※非公開

(学校教育課長)

新規申請分 1 件、資料により説明。

(教育長)

1 件認定とする。

(承認)

日程 4 諸般の報告について

(学校教育課長)

令和 7 年度の学力学習状況調査の概要について、全国学力・学習状況調査は、平均正答率を全国平均と比較すると、小学校では 3 教科で 2 ポイント上回った。国語科では基本の徹底や授業改善の成果が大きく表れている。算数科においては昨年度の 0.4 ポイントマイナスから改善が見られるなど、基礎学力の定着が進みつつある。中学校では、国語科で 0.7 ポイント、数学科で 1.7 ポイント上回った。2 教科ともに全国平均を上回り昨年度から基礎学力の定着に向けた取組の成果が出ている。国語科の授業の内容がよく分かるか、算数科の授業の内容がよく分かるかについての質問の結果としては肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校 6 年生では全国平均とほぼ同程度であった。中学校 3 年生では 9.7 ポイント下回った。中学校になると学習する内容が難しくなるため、小学校と比べると肯定的な回答が減少している。授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章を話の組み立てなどを工夫して発表していたかの質問に対して肯定的な回答が全国平均を小学校では上回ったが、中学校では 5.9 ポイント下回った。本市では対話のある授業、子ども同士が話し合うことをしっかり行うことを学校で取り組んでいるので成果が出ている。どう学ぶかを自分で考えられる力はこれからも継続的に育成していかなければならない。ICT 機器の活用については、授業で PC タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用したかという質問に対して、小学校・中学校ともに肯定的な回答が全国を上回っている。ICT 機器を活用した学習が積極的に行われており、小学校は特に顕著に高い数値が表れている。GIGA スクール構想の推進から習慣が身に付いてきている。家庭学習については、学校の授業時間以外に、普段の 1 日当たり

どれぐらいの時間勉強するか。1時間以上の割合は小学校では全国平均を大きく上回っているが、中学校ではやや下回っている。ただし中学校学力調査の結果を見ると国語・数学ともに全国平均を上回っていることから、効率的な学習習慣は定着しつつある。効率的に学ぶことをしっかり学校でも児童生徒に対して指導していきたい。教育委員会の今後の取り組みが大きく3点あり、1つ目は良質な関わり合いに焦点を当てた保育・授業改善、家庭学習・補充学習等の質的向上による学力の向上。子どもたち、学校の先生方、保護者が積み上げた学習を続けている点。また1人1台端末の活用などは進んでいるので継続していきたい。教育委員会としても、要請訪問等に指導主事を派遣して、学力向上や生徒指導の側面からの授業改善も続けていきたい。2つ目は子どもたちの主体的な活動、家庭や地域との連携に焦点を当てた基本的な生活習慣の向上。各校でコミュニティスクールの推進、地域の力を借りて、生活習慣の向上もしっかり進めたい。3つ目、系統的・継続的な教育に焦点を当てた小中一貫教育の推進。小中一貫教育がスタートして3年経つが、本市の強みとなっている。今回学力調査の結果を基に子どもの学力向上についてどう進めていくかの研究を金光鴨方寄島がそれぞれの地区で行っている。小学校は小学校だけ、中学校は中学校だけではなく、義務教育段階の小・中学校が一緒になり取組をしている。そこに指導主事が参加し、一緒に今後の学力向上に向けての取組について協議をしているところは強みである。お互いの良さを認める、励ますという活動が続けているが、どの学校を見に行っても、授業をやりやすい雰囲気と子どもたちの姿を多く見ることができる。夢や希望を持つ、将来に対するところが本市は若干低い傾向がある。各学校でも意見聴取しながら、より総合的な学習などを中心に、将来への夢や希望を高められる支援をしていきたい。

令和7年度県学力・学習状況調査の概要。結果のみ説明する。中学校2年生の国語は全国平均を下回るが、それ以外は全国平均を上回る結果となった。繰り返しになるが、基礎基本の徹底、家庭学習の充実などきちっと積み上げられて成果が出ている。

(保育未来課長)

1点目が、令和8年度の幼稚園保育園こども園の入園児童数

について。改めて認定についての説明をすると、保育の必要性を見る。就労しているか、保育の必要性があるか、で判断するが、その保育の必要性がないのが1号、あるのが2号と3号となる。もう一つの軸として、年齢で見る。年齢で3歳以上が1号2号。3歳未満が3号。それぞれに利用できる施設が若干異なる。令和8年度の募集をこれから10月11月と開始する。申込期間は、1号認定の幼稚園と、こども園の教育利用は10月1日から受け付けて今月いっぱいの受付期間となる。続いて2号3号は保育の必要性があるお子さんだが、こちらは保育園、そしてこども園、小規模保育になるが、1次募集が11月4日から14日まで、間に合わない方は2次募集3次募集という流れになる。

2点目が、浅口市の保育士等就職フェアについて。市報にも広報しているが、12月20日土曜日に中央公民館の2階大講義室で行う。対象の職種は資格職として保育士保育教諭と看護師の職種である。資格が要らない職種もあり、保育の補助者や調理の方々を対象にフェアを実施する。参加は、私立は市内全て、公立園は幼稚園を除く3園が参加する。資格のない方も来られるので、もし興味がある方がいたら声掛け頂きたい。

(ひとづくり推進課長)

1点目、今週になるが、第20回浅口市総合文化祭を10月18日、19日に3地区とも同じ日に開催する。

2点目、10月25日土曜日、あさくち天文台フェスタで188センチ天体望遠鏡と、京都大学の岡山天文台、岡山天文博物館3施設が合同でスタンプラリーをする。シャトルバスを運行して無料で上がり、望遠鏡を見る。

3点目、11月6日に中学生の浅口市長杯中学生英語スピーチコンテストを実施する。今年度の会場は浅口市中央公民館である。現在の申し込みが、暗唱の部で9組、創作の部で14組が申し込んでいる。

11月15日土曜日に浅口市長杯ドローンレース大会を初めて開催する。場所は寄島のふれあい交流館サンパレアの事務所前のロビーで空いているところをレース会場にした。27名が参加してレースを行う。観戦は無料である。

(金光分室長)

文化祭について、金光公民館と金光保健センターで開催する。
(寄島分室長)

寄島もやいの体育祭を10月12日日曜日に開催した。大きな怪我やトラブル等無く終了している。今後反省会があり、反省の意見を踏まえながら来年もより良い大会にしていきたい。

浅口市マラソン大会について、12月14日に開催する。9月末で参加募集を締め切った。1,073名の申し込みがあった。

寄島図書館のトイレの改修について、寄島総合支所が改修するので、改修工事を行った。10月1日に終わり、洋式トイレになった。

もう一点、図書館照明器具LED化の工事だが、機材の搬入が遅れており11月末の工期が1月末となる。

日程5 その他について
特になし。

次回教育委員会議

定例会 令和7年11月20日(木) 9時30分から

令和 7 年 11 月 20 日

浅口市教育委員会

教 育 長 文 谷 元 信

委 員 河 野 由 美 子

作 成 職 員 平 井 恵 美 子